

街かどアイドル

「劇団サンブステップス代表」
わたなべ あつき
渡邊 貴生さん



小学生のとき、すでに劇団で活動していた兄の影響で東金市を中心にミュージカルなどの公演活動を行っている「劇団サンブステップス」に入りました。現在、劇団四季で活躍している兄は今も憧れです。

子どもに限らず、いろいろな人に夢や感動を与えられる人になりたいです。

5月4・5日に東金文化会館で「NEW～夢のつづき～」の公演を予定しています。チケットについては文化会館 ☎(55)6211までお問い合わせください。

このコーナーに出てみませんか？

市内でイキイキとがんばっている方をご紹介します。

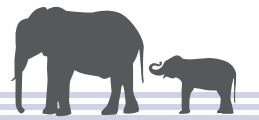
「広報とうがね」の読者が元気になるような笑顔を掲載しようと考えています。

性別、年齢、自薦、他薦を問いません。どしどしご応募ください。

応募・問い合わせ ▶ 秘書広報課

☎(50)1114

ザンビア通信 vol.1



前川裕香里さん

1月から青年海外協力隊としてアフリカ南部のザンビアに来ています。

昨年まで教員をしていた経験を活かし、ザンビアで小学校教育に携わっています。

ザンビアは初等教育時の基礎学力(読み・書き・計算)の不足が中等教育にも影響を及ぼしています。

初等教育のレベルアップのため、現在は、児童への指導、同僚教員との学習改善、学校運営改善に取り組んでいます。そこでの生活で感じたことをお届けします。

「平和な国ザンビア～挨拶を大切にする国民性」

青年海外協力隊 前川裕香里さん(松之郷出身)

日本の約2倍の国土に1,700万人ほどの人々が暮らす「ザンビア共和国」。

「One-Zambia, One-Nation(1つのザンビア、1つの国)」という国のスローガンは、73もの民族が穏やかに共存するザンビアを象徴しています。

2月に首都ルサカから南へ約190kmに位置する南部州モンゼの小学校に着任し、新しい生活が始まりました。まだ日も浅く、知らないことばかりですが、だからこそ感じるザンビアの印象やいろいろな事に翻弄されている日々の生活について綴ります。

アフリカの中で平和な国として上位にあがるザンビア。人々は穏やかで温かく、人に対して敬意を表すことと挨拶を大切にする文化があります。挨拶の様子ひとつからもザンビアの文化や精神を感じることができます。挨拶は相手とのつながりを意味する握手をします。目上の方や初対面の人に対しては少し膝を曲げて低くなります。

挨拶の言葉は「おはよう」という表現は存在せず、相手がどういう状況を知るための朝・昼・晩と時間帯ごとに異なった「調子はどう?」というような表現を使います。外を歩けば、道行く人が挨拶をしてくれ、一日に数えきれないほどの挨拶をすることになります。私はこの文化をととても気に入っています。



前川さんとザンビアの子供たち

次はライフラインについてですが、モンゼに暮らして2週間が経とうとしていますが、この間に何度となく停電・断水が起っています。電気(水力発電)も水もこの国の雨量にかかっているため安定しません。

いつ復旧するか分からない断水の不安は大きく、現在は部屋で巨大なバケツ5つに水をためて備えています。私は今までに水をこんなにも求めたことはなく、これもまた新鮮です。一方、モンゼの中でも田舎に暮らす人々は、井戸水を利用しており、断水の影響を受けずに生活しています。

水道と井戸、それぞれ一長一短があると思いますが、便利なものに頼った生活は、それを失ったときを想定していなければ、万が一のときに困難に直面するのだと実感しています。(つづく)

■ 広告欄 ■

募集 広報とうがねのこの欄に有料広告を掲載しませんか

1回につき約22,000部発行する広報紙の最終面に掲載。新聞折込などで市民の皆さんの手元に届く広報とうがねで、お店や会社をアピールしませんか。

掲載号 ▶ 1・15日発行号

規 格 ▶ 1枠=縦4cm×横6cm(1広告主につき各号2枠まで)

色 数 ▶ 1枠5,000円(1回掲載当たり)

※詳しくはお問い合わせください。

申込・問い合わせ ▶ 秘書広報課 ☎(50)1114